

がっこう  
学校だより

へんしゅうぶれんらくさき  
\*編集部連絡先\*

〒257-0025 はだのしおちあい 秦野市落合 500  
TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118  
ホームページ  
<http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/>



「はだのし なか 秦野市の中にある秦野養護学校」

きょうとう たかた きみえ  
教頭 高田 君恵

2020年も残り1週間 足らずで終わります。「どんな年でしたか？」と聞かれば、大抵の人が「新型コロナウィルス感染拡大」のことをあげることでしょ。今年の流行語大賞 を見ても、関連する言葉が多かったですね。秦野養護学校においても同様で、普段の生活や授業 の中でも、それに関するキーワードがたくさん飛び交っています。「密をさけましょう」「ソーシャルディスタンスを保ちましょう」「マスクの着用 ができる人はしましよ。」といったことも定着 してきました。「マスクをつけた顔」がスタンダードになるとのこと、あえてマスクを付けたまま、教員 の顔写真カードを作っているクラスもありました。まだまだ、予断を許さない状況 が続きます。学校では、安心安全を第一に考え、引き続き感染予防対策を着実に実施していきます。ご家庭でも、いつもの年末年始の過ごし方とは違うかもしれませんが、健康第一にお過ごしください。

さて、今回は、保護者の皆様にぜひお伝えしたかったエピソードがあったので、それを紹介 します。まだまだ、衛生用品が品薄だった時期の話 なのでだいぶ前のことになります。

昨年より関わっていただいている、ある学習 ボランティアの方から、たくさんのアルコール消毒 液、マスク等の寄付をいただきました。それだけでもびっくりしたのですが、『昨年度末広校舎の子どもたちからプレゼントしてもらったヒマワリの種が、この夏に元気に我が家の庭に大きな花を咲かせました。生徒さん達の笑顔が浮かんだりして気持ちが癒されました。またお会いできる日を楽しみにしております。』といった手紙とヒマワリの写真が添えてありました。ヒマワリの写真があまりにも美しかったのと(きっと大切に育ててくれたのでしょ)、秦野養護学校と子どもたちのことをこんなにも思ってくださっていることに感激し、胸が熱くなる思いでした。

本校には、ボランティアとして登録してくださっている地域の方々 が 20名ほどいます。どの方々も口をそろえておっしゃるのが、「少しでもお手伝い ができたらうれしい」「子どもたちから元気をもらっている」といった言葉です。ありがたい言葉です。そして、地域の方々との関わりから、子どもたちの学習の場も広がり豊かになってきました。学校が地域のためにする活動(公民館、保育園の落ち葉掃き等)も始まりました。地域にしてもらっただけではなく、学校が地域に還元する、地域と学校が WIN-WIN の関係になれることを目指していきます。

地域とつながる、地域を第2 の教育 の場にしていく、秦野養護学校のことを知ってもらうことの意味や意義を改めて感じています。それは、皆がお互いを認め合える「ともに生きる社会」「共生 社会」の実現につながります。

「秦野市の中にある秦野養護学校」のミッションは大きい!

当たり前そこにいて、当たり前一緒にいる、を自指していきたくと思っています。



C

## 「かもめ学級の授業の様子」



## 「オンライン授業」

一時的に自宅に戻っている児童にオンライン授業を行っています。はじめの挨拶をしたら、まずは日付・天気の確認から。神奈川県との天気の違いに驚くこともあります。音楽では、児童の好きな曲に合わせて、一緒に楽器を鳴らして楽しんでいます。かけ算、わり算、漢字などの問題に正解するとニコリ。かもめ学級で取り組んでいた時と同じように素敵な笑顔を見せてくれています。



## 「英検準2級合格！」

中学部2年生で、英検準2級に挑戦した生徒が合格しました！

英検合格を目標に、試験を想定した面接の練習に繰り返し取り組み、毎日ひたむきに学習を積み重ねてきました。かもめ学級がある神奈川リハビリテーション病院では、現在、新型コロナウイルス感染症対策で外出が制限されており、試験を受けに行くことができるか直前まで分からない状況でしたが、あきらめずに勉強を続けていました。当日、それまでの努力の成果を発揮し、見事合格！合格証が届いてから、かもめ学級で授与式も行い、みんなで「おめでとう！」とお祝いをしました。今回の合格をはずみに、次は2級に向けて新たな目標を立て、取り組み始めています。



E

## 「E高等部では11月に現場・校内での実習を行いました」

1年生は秦野養護学校に入学して初めての校内実習でした。スポンジ、アラミド・ゴムキャップ、消臭ボールの3班に分かれて作業を行いました。最初は慣れない様子でしたが、日を重ねるごとに生産性が上がり、表情からも自信が感じられるようになりました。

2年生は現場と校内に分かれて実習を行いました。「丁寧に作業をする」「大きな声で報告をする」などそれぞれが自分で目標を立てて実習に臨みました。緊張しながらも、意欲的に仕事に取り組むことができました。実習後も挨拶や言葉遣いを意識する様子が見られます。

3年生は卒業後の進路決定に向けて大事な実習を行いました。それぞれが自分自身の力を発揮し、とてもよい実習になりました。

今回の実習での反省を課題にし、その課題を次のよい成果につなげていけるよう、まずは日々の学校生活の振り返りから取り組んでいきましょう。

